



# 1月の園だより

学校法人志賀学園  
松の実こども園  
令和3年1月8日

新年明けましておめでとうございます。

今年は、コロナ禍の中ではありましたが、ご家庭中心でのお正月を一家団欒賑やかに過ごされたことと思います。今年も子どもたちにとって良い年になりますよう、よろしく願いいたします。

お正月の間、閑散としていたこども園に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。お休みの間、先生方は凧揚げやこま回し、カルタや福笑い、羽根つきなどお正月遊びの準備を進めて参りました。「子どもたちはどんな凧を作りたいかな?」「よく回るこまの作り方はないかな?」「牛乳パックでできる羽子板があるから作ってみよう!」「分かり易い作り方の絵を用意しよう!」などアイデアを出し合い、子どもたちが楽しく遊んでいる姿を思い浮かべながら取り組んでいる様子に、先生方の新学期に向けての意欲が感じられました。

羽根つきは厄払い、凧揚げには願いごとを乗せて天に届けるといった意味があるようです。子どもたちが何に興味・関心を示しているか様子を伺いながら、必要とされる環境を整え、日本の伝統遊びを継承して参ります。

また、1月11日は鏡開きですが、今年は成人の日で祝日ですので、園では本日8日の始業式に、こども園の神棚にお供えしていた鏡餅を、無病息災を願い、子どもたちと一緒に木槌で叩いて開きました。「割る」という言葉は縁起が悪いので「開」と表現します) 細かくした餅は、しばらく乾燥させ、後日給食の先生に揚げ餅にさせていただいて、子どもたち全員で食べたいと思います。1年間元気に過ごせることを願いつつ、食べ物を大事にすることなど、古来から伝わる言い伝えを子どもたちに伝えて参ります。

さて、1月4日に理事長先生より年頭の挨拶があり、来年度の教育方針が提示されました。4月からスタートする令和3年度の教育方針は“『いつも楽しい』保育をしよう～コロナに負けない～”です。「楽しくなければこども園ではない」は、理事長先生の常々の持論です。私たち職員は、この方針を受け、子どもたちの健やかな育ちと喜ぶ姿が見られるよう、楽しい環境を設定し、遊びを通して総合的に指導して参ります。このようなご時世だからこそ、子どもたちの心に残る保育を心掛けて行くことが大切だと思います。

そして、新型コロナウイルス対応として(手洗い、うがい、マスク着用、3密を避けるなど)は、常に意識した保育を心掛け、お子様にも保護者の皆様にも安心・安全な環境を整えて、保育して行きます。

3学期は一年間の総まとめの学期です。一人ひとり、幼児期に育って欲しい10の姿を再確認しながら丁寧に関わって参ります。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。